

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立桃山高等学校 】

1 実践テーマ	【 Ⅲ 】
2 実施対象者	第1学年361名 第2学年354名 第3学年342名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (保健体育) ② 行事名 (球技大会) ③ その他 (人権学習)
4 目標 (ねらい)	1 マイナスの感情に向き合い、乗り越えようと思う精神力を培う。 2 多様性を認め、創意工夫をすれば、誰もが同じスタートラインに立てることを気づく力を育成する。 3 講師の体験を通して、障害に対する理解を深めるとともに、障害と向かい合い、車いすフェンシングに挑戦する姿勢を学習する。
5 取組内容	1 体育理論領域「運動・スポーツの文化的特徴」において、パラリンピックについて学習する。 2 教職員によるボッチャ体験 3 特別活動（球技大会）でボッチャを全学年で実施する。 4 全定教職員によるボッチャ体験 5 講演(車いすフェンシング選手 櫻井杏理) 6 事後アンケートの実施
6 主な成果	共生社会を具現化するための重要なヒントが詰まっているため、社会の中にあるバリアを減らしていくことの必要性や、発想の転換が必要であることに気づかせてくれた。 諦めず困難を乗り越えて、進路を切り拓くことの大切さを学び、それを支える社会をどのようにつくればよいのかを考える機会となった。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	【教職員ボッチャ体験】 1 目的 教職員との親睦をより深める。 2 日時 令和3年5月26日（木） 3 場所 体育館



【球技大会】

- 1 目的 球技大会を通じてクラスの親睦を深め、クラス間の交流を図る。
生涯にわたってスポーツを楽しめる能力や態度を培う。
- 2 日時 令和3年6月3日（木）
- 3 種目 1年：バレーボール、ボッチャ
2年：バレーボール、ボッチャ
3年：ソフトボール、バレーボール、ボッチャ
- 4 成果 誰もが参加できるボッチャ競技を通して生涯競技スポーツへの志向意欲をより高めることが出来た。



【全定教職員合同体験】


- 1 目的 定時制教員との交流し親睦を深める。
定時制生徒にも、ボッチャ競技を通して生涯競技スポーツへの志向意欲への関心つなげる。
- 2 日時 令和3年7月1日（木）
- 3 場所 体育館



【講演】車いすフェンシング選手 櫻井杏理

- 1 目的 講師御自身の体験を通して、障害に対する理解を深めるとともに、障害と向かい合い、車いすフェンシングに挑戦する姿勢から、諦めず困難を乗り越えて、進路を切り拓くことの大切さを学び、それを支える社会をどのようにつくればよいのかを考える。
- 2 演題 「夢を目標に」
- 3 日時 令和3年11月17日（水）5・6限
- 4 対象 第1学年
- 5 場所 HR教室 イタリア（ピサ）からZOOM



	
8 主な課題等	<p>コロナ感染により、学校行事（文化祭）において、地域及び、特別支援学校との交流を図ることができなかった。</p>
9 来年度以降の実施予定	<ol style="list-style-type: none"> 1 単年度で終わることなく、体育理論領域「運動・スポーツの文化的特徴」において、パラリンピックについて学習させる。 2 学校行事において（球技大会）、全学年で実施する。 3 学校行事において（文化祭）において、地域及び特別支援学校との交流を図りたい。